



## 葛飾区協働事例集

発行日：平成31年3月  
発行：葛飾区  
〒124-8555 東京都葛飾区立石 5-13-1  
電話 03-3695-1111 (代表)  
<http://www.city.katsushika.lg.jp>

編集：葛飾区政策経営部政策企画課  
電話 03-5654-8177 (直通)

取材・編集・デザイン：株式会社 Jリポート

## 葛飾区協働事例集の発行にあたって



葛飾区は、人情にあふれ、地域内での人と人とのきずなが強い土地柄です。そのため、かねてより様々な人や団体、工業、商業、農業をはじめとする区内産業に携わる方々などにより、地域を良くしようとする活動が連携して行われてまいりました。

このきずなによる活動は、現在に至っても脈々と受け継がれています。この特色を大切にするとともに、さらに大きく発展させて、本区と関わりのある方々や団体、事業者の皆様がそれぞれの特色を生かして協働することにより、地域を良くしようという活動はより一層の効果をあげることができます。

そして、この協働の取り組みが広がり、積み重ねられていくことにより、「夢と誇りあるふるさと葛飾」を築くことができると考えています。

現在も様々な形で協働による素晴らしい活動や事業が活発に行われています。そのごく一部ではありますが、皆様にご紹介したいと考え、25団体に取材をさせていただきました。

今回で5冊目の発行となりますが、ご紹介した方々をはじめ、各方面の皆様からの反響も大きく、喜んでいただいております。今年も、この事例集により、本区で行われている協働の取り組みやそれに携わる方々の熱い思いなどを皆様にお伝えし、一人でも多くの方に地域を良くする活動に関心を持っていただき、また、参加していただけるようになればと考えております。

最後になりますが、本事例集の作成にあたって取材にご協力いただいた皆様に心より感謝いたします。ありがとうございました。

平成31年(2019年)3月

葛飾区長 青木 克徳

## 葛飾らしい協働

葛飾区における協働とは、

特定の目的に向けて

葛飾区と連携するものだけに限らず、

「葛飾区をより良いまちにしようとする活動すべて」を

広く協働としてとらえています。

つまり、様々な活動をする人や団体などが、

地域を良くしようという思いを持ち、

お互いに理解・尊重しながら活動することが、

葛飾区をより良いまちへとしていくための一歩になります。

みなさん一人ひとりが考える

「葛飾区をより良いまちにしようとする活動」に

取り組んでみてはいかがでしょうか。

ご存知ですか？ 成年後見制度 認知症高齢者などの暮らしを守ります	NPO法人かつしか市民後見センター	33
デフママ=聴覚に障害のあるママたちがつくる 手話 地域貢献の大きな輪！	葛飾区デフママの会	35
音だけの世界 音訳が 視覚障害者を支える！	葛飾音訳ボランティアの会	37
ご当地ヒーロー 葛西城戦士カツラギ 歴史に埋もれたお城や史跡をPR	葛西城戦士カツラギ プロジェクト	39
わがまちの吹奏楽団かつすい♪ 歌って踊って客席とステージが一体に！	葛飾吹奏楽団	41
わがまちのオーケストラ葛飾フィル 銭湯の脱衣所でミニコンサート！	葛飾フィルハーモニー管弦楽団	43
歴史への招待 人気の文化財めぐりで まちのお宝再発見！	葛飾区文化財保護推進委員会議	45
躍動するサッカー少年・少女たち 国際交流試合も活発に！	葛飾区サッカー連盟	47
灯明で描く地上絵の幻想世界！ 光のアートが堀切の夜を彩る	葛飾灯明実行委員会	49
国内最大級！機械要素技術展に ものづくりのまち葛飾の企業が出展、PR を！	機械要素技術展	51
ゴールドに輝く！ 金町 かなまちイルミネーション 竹あかり&クリスマスリース ふるさと・クリスマスマーケット	ライティング・コラボレーションかなまち実行委員会	53
人材育成課からのお知らせ ●採用2年目職員の「協働研修」をご紹介します!!		55
協働推進担当からのお知らせ ●葛飾区職員出前講座のご案内		57
●葛飾みんなの協働サイト		58

葛飾らしい協働		1
区長あいさつ		2
生演奏で 歌ってみよう 奏でてみよう 聴いてみよう 盛況です！ 廃校の音楽教室	子ども夢クラブ	5
ポニー(小型の馬)に乗って颯爽と！ 馬との交流で、こころ育む子どもたち	ポニースクールかつしか	7
学校と地域をつなぐサポート役が “人にやさしいSNSルール”を普及へ	葛飾区青少年委員	9
まち歩き&座学でもウケています 「区民が語る」「区民と語る」「区民に語る」体験型講座	かつしか区民大学区民運営委員会	11
宮沢賢治の世界を 言語 視覚 聴覚 で表現 小学生たちの人体交響劇！	葛飾ものがたり文化の会	13
ひとりぼっちの寂しさを、楽しさに変え カフェに集う高齢者たち	オレンジ交流会かるがも家族	15
ヨガとリンパの体操で健康増進！ 楽しいです！ 高齢者と地域のふれあいの場	柴又いきいき体操ボランティアクラブ	17
年の功で、ゆったり気長に指導！ 高齢者・障害者に、パソコン教えます	たま企画	19
“はつらつ体操”で、元気になろう！ 人気です 地域の健康づくり	第二松寿会	21
ごみゼロのまちを目指して！ 区内約140自治町会が、頑張っています	葛飾清掃協力会	23
真の男女平等社会実現へ！ FMラジオや情報紙で取り組みを発信	かつしか女性会議	25
お馴染み人気キャラ モンチッチが まちの活性化に大活躍！	株式会社セキグチ	27
放置自転車の撲滅へ 区民総ぐるみで激減！	金町駅周辺放置自転車及び路上駐車対策等連絡協議会	29
創業者への応援で、地域活性化！ 信組信金4行が、創業・融資の強力サポート	亀有信用金庫、東栄信用金庫、 青和信用組合、第一勧業信用組合	31



奏でてみよう



きいてみよう



年度末の発表会



生演奏で

盛況です！

歌ってみよう

奏でてみよう

聴いてみよう

# 廃校の音楽教室

子ども夢クラブは、区内在住の音楽家、高橋靖(きよら)さんが開催する音楽教室です。高橋さんは、「児童が熱心に音楽を習っているのに、生の音楽に触れる機会が少ない」と感じていたことから、音楽体験の場を作りたいと葛飾区の協働事業に応募し、2008年に子ども夢クラブをスタートさせました。旧小谷野小学校の音楽室を会場に年間10回活動をしています。

教室は、高橋さんの伴奏で合唱する「うたってみよう」、参加者が合奏する「奏でてみよう」、招いたプロの音楽家の演奏を鑑賞する「きいてみよう」の3部構成です。4月に参加者を募集し、毎年40〜50人の小学生が参加しています。音楽室内には保護者も入ることができ、子どもたちの活動を一緒に楽しむでもっています。

最終回には堀切地区センターホールで、合唱や合奏の発表を行っています。



うたってみよう

子ども夢クラブの

活動は、小学生の文化・芸術に対する関心を高めるだけでなく、小学生同士の交流も深めるなど、情操教育にも広く役立っています。



子ども夢クラブの皆さん

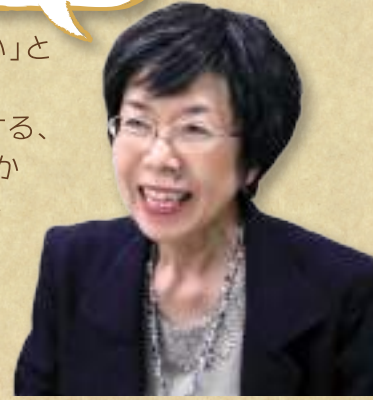
## 卒業した子どもが、音楽の道に進みたい、と言ってくれました

小学生が対象ですが、毎年40名の募集のところを、定員オーバーの申し込みがあります。アンケートでは、「すごく楽しかった。毎日来たい」「来年も続けてやりたい」などの声が多く、ドレミの歌やエーデルワイス、夢をかなえてドラえもんなど、子どもたちが大好きな歌を、「今度歌いたい歌」にリクエストしてきます。

保護者の方も参観できるようにしています。カラオケとは違って、生の伴奏なので楽しいんでしょうね。「子ども夢クラブ

の大人版をつかってほしい」とも言われています(笑)。

音楽を聴く、歌う、演奏する、の3要素で構成していますから、特に発表会の前は熱が入って、とても盛り上がります。夢クラブを巣立っていった子どもたちから、「音楽の道に進みたい」と話すと、とてもやりがいを感じています。



代表 高橋 靖さん

**Point 1** 高橋さん伴奏で「うたう」「奏でる」、プロの演奏を「きく」の3部構成で活動

**Point 2** 小学生の文化・芸術に対する関心を高める

**Point 3** 小学生同士の交流を深め、将来の「まちづくりの担い手」育成につなげる

# 馬(小型の馬)ポニーに乗って廻爽と！

との交流で、こころ育む子どもたち



ポニースクール  
かつしかは、区制  
50周年記念事業の  
1つとして、昭和57  
年に開園した子ど  
もたちのための社  
会教育施設です。  
幼児から中学生ま  
での子どもたちが、  
小型種の馬・ポニーの世話や乗馬、そし  
て子どもたち同士の交流を通して、豊か  
な人格形成を図っています。

現在、ポニーは14頭おり、乗馬は、「軽  
乗(けいじょう)」といわれるアクロバット  
乗馬も取り入れています。

事業内容を大きく分けると、公園に  
来たる歳以上小学6年生までの子ども  
たちが、職員をサポートを受けながら馬  
に乗って馬場を1周する「引き馬」、保育



## スクールには、“たくましい子”が、たくさんいるんです(笑)

乗馬は、子どもたちにとっても人気ですから、安全面には気を使います。馬場の環境を整え、乗馬用ヘルメットを着用するなど、ハード面の管理はおこたいません。でも、子どもたちは、馬と折り合いをつけて、トラブルを回避することを学んでいます。

馬って、人間が10の力でプレッシャーを与えたら、10の力で返してきます。人間は馬の力には勝てません。馬の動きで感情を理解して、折り合いがつかなかったらプレッシャーを弱めてやる。1鞍乗るごとに、

それを繰り返して、馬との関係性を覚えます。それが、安全に乗りこなすコツになるんです。

ですから、これをしちゃダメ！とかあまり言わないで、自分で体感する自主性に任せ

ています。そういう意味では、ウチは“たくましい子”がたくさんいるんです(笑)。



ポニースクールかつしか  
施設長 佐藤 ともえさん



馬の世話も自分たちでします！

園児や幼稚園児の  
グループなどを対  
象にした「団体教  
室」、乗馬を軸に子  
どもたちの心と体  
を鍛える「個人教  
室」の3種類です。

個人教室には健  
常児と障害児、合  
わせて約450人の子どもたちが参加  
し、乗馬だけでなく、厩舎の掃除やエサ  
やりなども行い、ポニーと上手にコミュ  
ニケーションを取り合うことを学びます。

障害児の乗馬教室(パートナー  
アマール)は、全国的にも珍しく、  
ポニースクールかつしかは、開  
園から37年間、乗馬を通じ  
て青少年の健全な育成  
に取り組んでいます。

お馬さんと  
仲良くなれました！



みんなで厩舎の掃除



軽乗(けいじょう)

**Point 1**  
ポニーを通して、青  
少年を健全に育成

**Point 2**  
引き馬、個人教室、  
団体教室の3種類の  
事業を実施

**Point 3**  
障害児が参加できる  
乗馬教室は全国的に  
も珍しい



葛飾区青少年委員の皆さん



かつしか郷土かるた全区競技大会では、審判も務めています

学校と地域をつなぐサポート役が  
人にやさしいSNSルールを普及へ

葛飾区青少年委員は、学校と地域をつなぐサポート役として、様々な地域や学校行事に参加しています。

同団体は区内の小・中学校学区ごとに選出された73名で構成され、SNS、学校地域応援団、郷土愛の3つを柱に活動しています。SNSについては、区内中学校の生徒会が作った、SNSの利用ルール「SNSかつしかっ子ルール」をつくる話し合いの場を取り持ちたり、でき

SNS かつしかっ子ルール

- 人にやさしくします  
相手の気持ちや都合を考えよう
- あいさつで心をつなぎます  
コミュニケーションを大事にしよう
- 約束を守ります  
家庭でルールを決めて実行しよう
- 自分で考え、行動します  
自分の行動と個人情報を管理しよう
- 仲間と力をあわせませす  
傷つけ合うより支え合おう

保護者の方々や、地域のおじさん・おばさんたちにもSNSのルールが浸透していけば…と思います

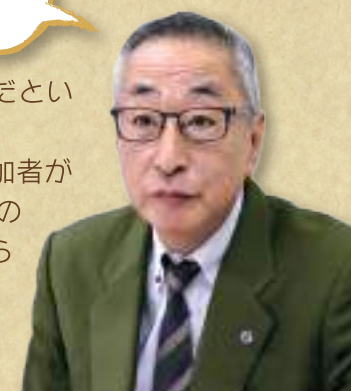
「SNSかつしかっ子ルール」を作った際は、生徒会の中でSNSへの意識が高まったと話題でした。日々SNSを利用する児童・生徒たちや、その保護者の方々はもちろん、SNSに馴染みのない地域のおじさん・おばさんたちにも、SNSへの意識を持ってもらい、このルールが浸透していけばいいと思っています。

ルールを印刷したクリアファイルは予算の関係で少部数しか作成できませんでしたが、大変好評で、配布した学校の校長先生

からは全校生徒に配るべきだという声をいただきました。

また、かるた大会も年々参加者が増え、当初5地区だけだったのが、昨年度は区内全地区から選手が揃いました。

かるたを習うのは、小学校3年生ですが、4年生以上になっても続け、かるた部に入る子もいて、白熱した真剣勝負を見せています。



会長 田邊 幸雄さん

上がった「SNSかつしかっ子ルール」でクリアファイルを作成し、各学校や地域に数枚ずつ配布しました。

また、通学路でのあいさつ活動や、読み聞かせなどを行う学校地域応援団を担う人材を地域住民と共に探したり、子どもたちの郷土愛を深めるため、葛飾区の史跡を札にしたかつしか郷土かるた(以下「かるた」)の普及やその大会運営、審判も行っています。昨年度は区内19地区から選手が集まり、白熱した大会となりました。

かるたやSNS、その他にもさまざまな子どもたちに関連する問題に対応するため、毎月の定例会では、かるたやSNS、ICTなどについての勉強会も行われます。



水元総合スポーツセンターの見学



はたちのつどい



子どもまつり



子どもまつり・風づくりコーナー



定例会で、郷土かるたを勉強

Point 1 SNSかつしかっ子ルール作成のサポート

Point 2 学校地域応援団を担う人材を探し、育成

Point 3 郷土愛を深めるため、かつしか郷土かるたの地区大会を運営

まち歩き & 座学でもウケています

「区民が語る」「区民と語る」  
「区民に語る」体験型講座



区民が語る! 落語の世界



葛飾区の境界を見る



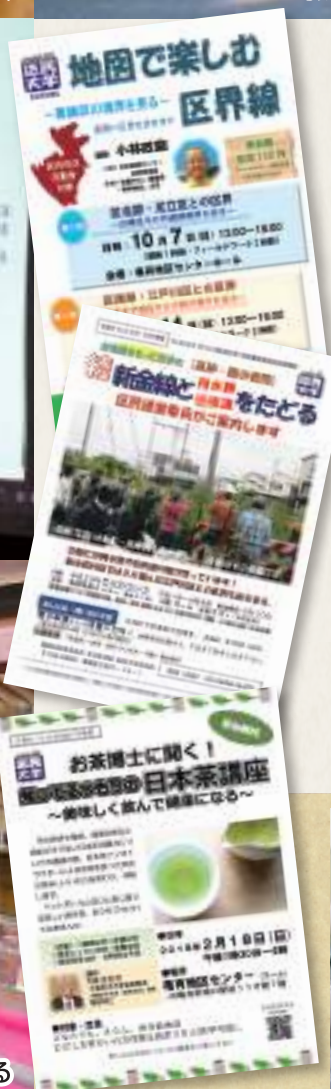
葛飾区の境界を見る  
亀有を歩きました!



区民が語る「復活! 南葛八十八か所巡り」



柴又帝釈天・彫刻の魅力を探る



語る「スタイルや、専門家と共に、地域の問題について意見を述べ合う」「区民と語る」講座も評判です。

同運営委員会委員は、任期2年で公募し選考を経て、かつしか区民大学の理事長である区長より委嘱されています。

区民大学では、区民運営委員会が、区民目線・区民らしさが出るような企画を練り、「区民が語る」「区民と語る」「区民に語る」をキャッチフレーズに、講座を運営しています。

区民大学の講座の中で特に人気なのが、区民が講師になる「区民が語る」講座です。例えば、「新金線と用水路・旧街道をたどる」という講座は、総武本線の貨物支線である新金貨物線について、座学で学ぶだけでなく、実際に沿線を歩きながら解説を受ける体験型講座です。

他にも、「町の文化と歴史をひもとく会」が葛飾の木根川・渋江・四つ木の歴史を元に作成した、かるたについての講座など、座学とまち歩きを組み合わせた体験型講座が、区民に人気です。

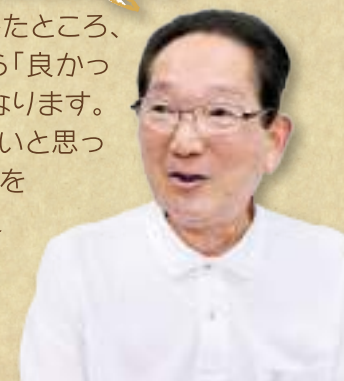
また、大学教授等の専門知識を持った講師を招き、講演をしてもらう「区民に

「講座の続編をやってほしい」という声が続々と…励みになります

講座の度に行うアンケートでは、「知らなかったことを教えてくれた」「講師が良い」などと評判で、「続編をやってほしい」という声も多くあります。「区民が語る」講座の講師は、素人の区民ですが、前半1時間座学、後半1時間まち歩きなど、実際に体験しながら学ぶスタイルがウケているようです。

見ることのできない演出にしたところ、大変好評でした。参加者から「良かった」という声を聞くと励みになります。

私は、もっと葛飾を知りたいと思って参加し、葛飾の伝統や文化を知ることができました。委員の中には、誰かの役に立ちたいという人、やりたい企画や熱意を持っている方が多くいます。今後も皆さんに喜んでいただけるような講座を企画していきます。



委員 斉藤 佳典さん



講座受付の風景

Point 1  
区民目線の楽しい講座を企画・運営

Point 2  
まちを歩くなどの学ぶ体験型講座が特に人気

Point 3  
区民運営委員会委員は任期2年で公募。選考後、区長から委嘱される

宮沢賢治の世界を  
言語 視覚 聴覚  
で表現

小学生たちの  
人体交響劇!



セリフを  
言っている

言語

視覚

中央・お供えの  
餅を表現

聴覚

後方・喜びや  
恩恵を表す

葛飾ものがたり文化の会は、小学生を

対象に、宮沢賢治作品を「人体交響劇」で

表現するワークショップを行っています。  
人体交響劇とは、言語、視覚、聴覚の  
3つの観点からなる、道具を使わず体だ  
けで表現する舞台芸術です。

言語の観点では、物語を朗読で表現  
します。視覚では、物語に登場する目  
に見えるものを、聴覚では、話のリズムや、  
作品の空気、著者の描こうとした抽象的  
なものを体で表現します。これらを表  
現するために、作中に出てくる食べ物や  
鉱物、生き物などを図鑑やインターネッ  
トなどで調べるだけでなく、実際に食べ  
たり、観察したりして、題材となる童話  
を、身をもって体感しながら精読し、亀  
有学び交流館で練習しています。

また、全5回で「人体交響劇」を体験  
できるワークショップも開催しています。

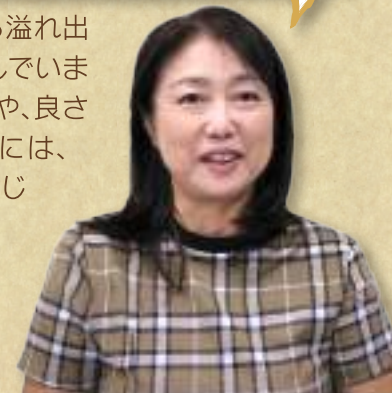
子どもたち一人ひとりの個性や、良さが  
表現を見ると、やりがいを感じます。

始めた当初は、表現活動自体を  
理解していただくのに苦労しましたが、最近  
では「表現しているときの子どもの表情がよ  
い」「文学の新しい楽しみ方を知ることがで  
きた」などと評価していただけるようになりました。

科目にこだわらず、何でも調べて学ぶ、万  
有学を活動のベースとしていて、子どもた  
ちの学力向上に役立っています。楽しく学んだ  
ことは、深みのある知識となります。この表  
現には型にはまらない楽しさがあり、表現を  
通して、皆楽しみながら成長しています。

子どもたちも、内から溢れ出  
る独創的な表現を楽しんでいま  
すし、一人ひとりの個性や、良  
さが表現を見たときには、  
いちばんやりがいを感じ  
ます。

宮沢賢治作品を体験  
して実感して味わい尽  
くすこの活動を、著者の  
賢治さんも喜んでくだ  
さると思います。



代表 山下 純子さん



旗作り みんな  
芸術家になる



沢蟹の子どもたちを表現

新聞紙四分の一に  
みんなで乗ってみる



夏のワイルドキャンプ  
ちゃんばら&木登り



夏の恒例水遊び

春のキャンプで  
人体交響劇の  
発表会



Point 1  
宮沢賢治作品をカラダ  
で表現

Point 2  
体験ワークショップを  
開催

Point 3  
年1回の発表会で披露



独りぼっちの寂しさを、楽しんで変える  
カフェに集う高齢者たち



民生委員が飲み物をいれたり食べ物を配ったりします

カフェの最後はみんなで体操



ジャンケンポン!!



オレンジ交流会かるがも家族(ふあみりー)では、高齢者のひきこもり防止や、認知症をはじめとした健康情報を広めるため、オレンジカフェ(認知症カフェ)を運営しています。

同団体は、民生委員をはじめとした地域住民で運営されており、高齢者が外出するきっかけになるような楽しい場所を作ることが目的に、オレンジカフェ(認知症カフェ)を始めました。毎月1回、参加費200円でお茶を飲みながらおしゃべりをしたり、

熱中症などの健康情報を学んだり、折り紙や人形作りを楽しむなど様々な催しをしています。講師を招いての脳トレ講座や、振り



込め詐欺についての講習会を行うこともあります。毎回最後には、体操も行っています。

また、カフェで提供されるコーヒーやジュースなどの飲み物は、民生委員手づくりのメニューから選ぶことができ、出席するとポイントが貯まるポイントカードを配布するなど、参加者が外出して仲間づくりを楽しめるよう工夫をしています。健康についての相談もしやすく、認知症をはじめとした疾患の早期発見につながっています。



ジャンケンポン!!  
当分の間は無料です

メニューも  
会員の  
自作です!



渡邊 久子さん 栗原 正男さん 代表 木村 良子さん

カフェに来るようになって、「寂しくなくなった」と皆さん言っています。うれしいです。

葛飾区は下町文化がありますから、昔は高齢者みんな誰かの家へ寄り合っ、お茶を飲みながら井戸端会議をすることが多かったんですが、ここ30年ほどでそれが無くなってしまいました。

私たち民生委員は、地域とのつながりが無い高齢者の、「寂しい」「地域の方と仲良くなりたい」という声を聞いて、井戸端会議のように集まれる場所を作ろうと思い、オレンジカフェを始めました。

「毎月1回の楽しみ」と言ってくれる方も

多く、もうすぐ参加ポイントカードがいっぱいになる人もいます。参加者の平均年齢は80代と高齢ですが、皆さん元気です。カフェに来るようになって「体の具合が良くなった」「寂しくない」と皆さん言っています。そういう声を聞くと嬉しいです。

今は男性参加者が少ないので、今後は男性にも、もっと来てもらえるようにしたいですね。



中山 慶治さん

Point 1  
オレンジカフェ(認知症カフェ)の開催

Point 2  
脳トレなどの健康情報を学ぶ講演会を実施

Point 3  
高齢者の仲間づくりを推進

ヨガとリンパの体操で**健康増進!**

楽しいですよ! **高齢者と地域のふれあいの場**



みんなで  
いきいき体操!



ハワイアンバンドの演奏で  
大いに盛り上がりました!



笑顔があふれています



柴又いきいき体操ボランティアクラブは、一人暮らしや引きこもりになりがちな60歳以上の高齢者の方に、さまざまなふれあいを通じて、楽しさや喜びを味わってもらおうと活動しています。

毎週水曜日のいきいき体操では、リンパ・ヨガ体操を行っています。医療機関でもリハビリに取り入れているヨガ体操で、参加者たちは体幹や呼吸法を整えます。そして、リンパ体操で体の中の余分な水分や脂肪などを取り去り、健康増進に役立ててもらっています。

毎月第4金曜日に関われるいきいきサロン茶話会&カフェハナミズキでは、お茶菓子と飲み物を参加者に提供し、市民バンドの演奏会や折り紙教室、雑技団の演技を観賞する会などが行われています。参加費はたったの100円です。また、近所の小学生たちが来て、一緒に

図工をすることもあります。さらに、高齢者総合相談センターの職員も毎回参加し、カフェと相談コーナーを開いています。

同クラブは、柴又地区福祉活動推進委員、柴又地区民生児童委員、柴又地区自治町会役員・会員などの協力を得て柴又北野町会会館で活動しています。

「老いるのはまだ早いわね」なんて声に、嬉しさも倍増です

ヨガ・リンパ体操に訪れた高齢者の方が、「スッキリした」「体が柔らかくなった」などと嬉しそうに話してくれるので、また次回も頑張ろうと思います。

カフェハナミズキでは、講演会や音楽会などを取り入れた茶話会をしていて、普段30~40人くらいの方がいらっしゃるのですが、大人気の民謡・歌謡ショーには、2倍の約60人の方がいらっしゃいます。嬉しそうに大きな声で歌っているのを見ると、私たちも力をいただきます。

好評なのが、オカリナや大正琴、三味線、

フラダンスなどの講演会。いっしょに歌ったり、踊ったりで会場がひとつになります。実はこれらの多くはスタッフメンバーの隠れた特技で、講師をしてもらっています。参加者の皆さん、とても楽しそうで、「老いるのはまだ早いわね」なんて声が飛び交い、こちらの嬉しさも倍増です。

7年目に入り、ご近所さんだけでなく、地域を超えてたくさんの方にいらしていただき、いろいろな新しい催しも楽しんでもらえたら、と思います。



代表 鈴木 喜代子さん



いきいきXmasライブ・パレット演奏



民謡&歌謡ショー

Point 1  
いきいきリンパ・ヨガ  
体操教室の開催

Point 2  
茶話会&カフェハナ  
ミズキで音楽会や  
講演会を開催

Point 3  
高齢者総合相談セン  
ターの職員も毎回参加。  
相談コーナーを開設

# 年の功で、ゆったり気長に指導！ 高齢者・障害者に、パソコン教えます



## 平成29年度 葛飾協働まちづくり表彰



平成29年度 葛飾協働まちづくり表彰を受賞しました



(右)講師 藤井 久二子さん

わかりやすい教科書をつくるように心がけています



応変に指導内容を変えています。  
火曜日は、区内の障害者就労支援センターで、知的、身体、精神障害のある方を対象に、就労訓練を目的としたパソコン講座を開いています。  
わかりやすい教科書を手づくりしていますが、受講生の障害の種類や程度、特徴が多岐にわたるため、受講生一人ひとりと気長に向き合い、それぞれの希望や適正に応じた指導を根気よく行っています。



をはじめ、チラシが作りたい、家計簿を作りたいといった受講者それぞれの希望に応じて、その都度、臨機



たま企画は、区内の高齢者と障害者を対象に、パソコンの使い方全般を指導しています。全ての講座は事前に予約することで、指導員を前もって確保し、マンツーマンで行います。受講者自身のペースで、しっかり確実に学ぶことができます。活動は毎週月曜日と火曜日で、それぞれ90分制です。月曜日は、代表の玉木さんの自宅で、高齢者を対象に指導しています。パソコンソフトの基本である、表計算ソフト・エクセル(Microsoft Excel)やワープロソフト・ワード(Microsoft Word)を

「パソコンを教えてもらって、就職できました」という報告は、嬉しいですね



代表 玉木 高夫さん

指導の対象が高齢者や障害者ですが、教える方も高齢者ですからね(笑)、年の功といいましょうか、ゆったり気長にやれるんですね。そのおかげか、はじめはガチ

ガチだった受講生の方も少しずつ打ち解けてリラックスして学べるようになるようです。

障害のある受講生の方から「ここでパソコンを教えてもらったおかげで就職できました」とい

う報告を聞けると、本当に嬉しいですね。指導員のほとんどは元々パソコンに詳しいわけではなく、みんな学びながら教えるから大変なんです、人に教えることで非常に勉強になるし、たくさんの受講生の成長を見られると、やりがいを感じます。

我々の活動は、高齢者の方の学びの場や、区の障害者就労支援活動を支える取り組みになります。ぜひ、たくさんの方に指導員になってもらって、この喜びを一緒に感じてほしいですね。

Point 1  
高齢者へのパソコン指導

Point 2  
障害者の就労支援としてのパソコン講習

Point 3  
指導の実践を通して、講師を育成

人気です  
地域の健康づくり  
はつらつ体操で、元気になろう！



旧三河島污水処分場見学



はつらつ体操  
上級指導員  
伊藤 浩子さん

指導員と一緒に、はつらつ体操



皆さん楽しみながら  
体力測定をしています！

体力測定では片足立ちや握力測定などを行い、実年齢より若い数値がでると、ヤッター！と大喜びする光景が、会場のおちこちで見られます。

さらに、地域の名所・旧跡などを散策するウォーキングや見学会などを行い、楽しく健康づくりに取り組んでいます。

片足立ちの結果は...



イヤァ〜



毎回、楽しく体操しています。

このほか、毎月1回テーマを決めて、「健康診断書の見方」や「食中毒の話」など保健センターから招いた講師の話の聴いたり、体力測定を行ったりしています。

第二松寿会では、葛飾区健康づくり推進員が「地域の健康づくりを推進する」という目標を掲げ、高齢者に健康づくりの機会を提供しています。当初は5〜6名だったメンバーが、現在は15名程度に増え、活動しています。

健康づくりの機会として、健康づくり推進員の皆さんが考案した「かつしかはつらつ体操」を定期的に行っています。この体操は、葛飾区歌に合わせた動きが肩こりの解消などに効くといわれており、参加者からも「体操する機会がなかったので、貴重な健康づくりの機会になっている」と好評です。

はつらつ体操指導員の指導のもと、



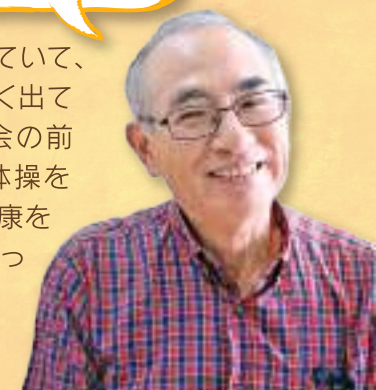
体力測定で、実年齢より若い数値がでると、皆さん喜んでいきます

高齢者の皆さん、健康には気をつけていますよね。体力測定で「片足立ち」は30秒ぐらい立っている人もいます。「握力」は、25kgぐらいある人もいます。両方とも良い数値です。日頃、家庭で練習していることが、身につけているんだなあ、と思います。

健康づくりに関するイベントは、敬老会の会場である旧松南小学校でやっています。そのほうが会場が確保しやすいものですから。

私は以前、町会の役員をしていて、はつらつ体操の講習会によく出ていたんです。その時に松寿会の前会長から、「是非、はつらつ体操をやりたい、会員の皆さんの健康をもっと考えたい」と要請があったので始めたんです。

いやあ、始めて良かったですよ。何より大勢の方が参加してくれて、熱心に、しかも楽しんでやっていますよ。



葛飾区健康づくり推進員  
檜山 正春さん



はつらつ体操の様子



健康についての講習



2018年秋のウォーキング

Point 1  
はつらつ体操&体力測定で健康づくり

Point 2  
保健センターの講師が健康講話を実施

Point 3  
名所・旧跡の見学会やウォーキングを実施

ゼロのまちを目指して!

区内約

140

自治町会が、頑張っています



かつしか ごみ減量キャンペーンでは、街頭で「ごみ減量」を呼びかけています



環境問題懇談会の様子  
雑紙の分別について習得します

※かつしかルールとは...  
「ごみの量を減らし、  
資源を良質なりサイクルに  
つなげるために、  
みんなで行う取り組みの  
ことを言います。

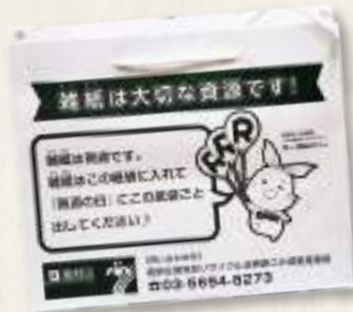


また、年に2回、区民向けの情報誌「ごみゼロかつしか」を発行し、ごみの減量やリサイクルの普及啓発を行っています。さらに、清掃工場やリサイクル施設の見学会を実施し、自宅から出たごみがどのように焼却処理されるか、などを地域の方々に体感してもらい、ごみ減量の必要性を訴えています。

同協力会は、区と地域とのパイプ役として、ごみのないまちづくりを目指し、この協働事業を実践していきます。

葛飾清掃協力会は、昭和34年から活動を始め、現在は区内約140の自治町会で構成されています。長年にわたる地域におけるごみ減量や環境美化向上のための普及啓発活動を行い、地域の人々の環境意識の向上に力を注いできました。

主な活動としては、地域ごとに環境問題懇談会を開催し、ごみ問題など環境問題に関する広報活動を実施しています。懇談会では、かつしかルール(※)や、リサイクルなどに関する意見交換などを行っているほか、自治町会の方々に、分別ゲームなどを通じて、ごみの正しい分け方をお知らせしています。

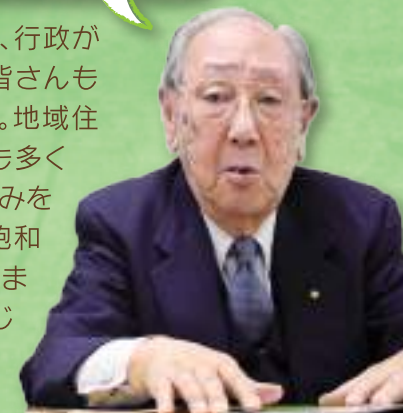


まちはきれいになりましたが、ごみの減量を徹底したいですね

昔はひどかったねえ。冷蔵庫とかタイヤとかをごみとして出されちゃって、というか捨てられちゃって。まちがきれいじゃなかった時代を経て、今があるわけで。

近年は、道路や公園など、まちをきれいにする清掃・美化活動を活発にやっていますから、まちの環境美化が良くなりましたよね。我々はボランティアでやっていますので。お役に立っているのではないのでしょうか。もちろん、地域住民の意識もだいぶ高まっていますが。

ウチの協力会みたいに、行政がらみの団体には、住民の皆さんも協力しやすいと思います。地域住民の方からは、感謝の声も多くいただいておりますが、ごみを埋め立てる場所が将来、飽和状態になる可能性もありますので、この状況に甘んじることなく、各家庭などで、ごみの減量を徹底できるようにしたいですね。



会長 秋山 精一さん



Point 3 ●  
清掃工場やリサイクル施設の見学会を実施

Point 2 ●  
区民向け情報誌「ごみゼロかつしか」を発行

Point 1 ●  
ごみ減量・かつしかルールなどの普及啓発活動

# 真の男女平等社会 実現へ!

FMラジオや情報誌で取り組みを発信



かつしか女性会議  
運営委員の皆さん



年間27回程度、FMラジオ放送  
番組で情報発信

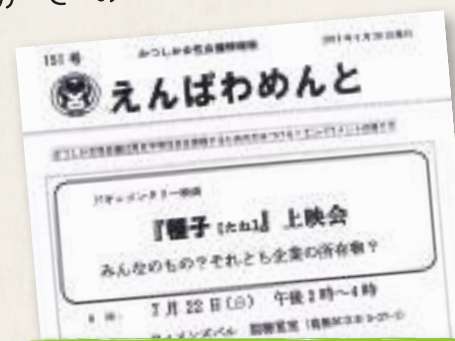


かつしか女性会議は、葛飾区に男女平等意識を根付かせ、真の男女平等社会が実現することを目的に活動しています。

年4回発行する情報誌「えんばわめんと」や、年間27回程度、FM放送の番組に出演して、区民や男女平等推進センターの利用者に対し、区政情報や男女平等への取り組みなどを情報提供しています。

また、男女平等をテーマに、講演会や映画会を企画・運営したり、女性問題に関する学習会を開催しています。

さらに、「使用済み切手で支援する会」では、収集した使用済み



切手を選別して開発途上国に送り、妊産婦や女性の命と健康を守るボランティア活動にも協力しています。

毎年、男女平等推進センターで開催されるパルフェスタでは、実行委員会のメンバーとして活躍するほか、日頃の活動内容を展示するなど広く情報発信を行い、女性の地位向上に向け、普及啓発活動に取り組んでいます。

協働事業として区は、活動場所の提供や、区が実施する事業の情報提供などを行っています。

## 活動は、社会における問題提起。興味を持ってもらおうと嬉しいです

イベントで出展ブースを出して、DVや賃金差別など女性の地位向上に向けた活動内容をアピールすると、「こんな問題もあるんですね」とか「こういう事で活動している団体があるんですね」と、話しかけられます。来場した皆さんが、改めて気づかされる問題がたくさんあるのだと思います。私たちの活動は、それ自体、社会における問題提起でもあるので、少しでも活動に興味をもってもらうと嬉しいです。

イベントと比べると、今は少し落ち着いてはいますが、女性差別はやはり根深く、DVなどのように、より陰湿になっているように思います。

私たちは、権威にとらわれない、ゆるやかな上下関係で組織を運営していくため代表を置いていません。自主性を重んじ、一人ひとりが代表という考え方で運営しています。地道ですが、粘り強く活動していきます。

運営委員 安達 由恵 さん



この指とまれ企画運営委員会 企画の「女性議員さんと話ませんか」に参加



定例会



男女平等推進センター1階  
使用済み切手の回収BOXとかつしか女性会議専用掲示板



**Point 1**  
FM放送の番組に出演し、男女平等への取り組みを発信

**Point 2**  
使用済み切手を開発途上国に送るボランティアに協力

**Point 3**  
情報誌「えんばわめんと」の発行

お馴染み  
人気キャラ

# モンチッチが

## まちの活性化に大活躍!

スカイデッキたつみ  
モンチッチ装飾 完成式典 (平成30年3月)

一緒にニコ♡

誰もが知っている人気キャラクター「モンチッチ」の生みの親である株式会社セキグチ(西新小岩5丁目)は、世代を問わず、世界中で愛されているキャラクターを活用し、まちの活性化に取り組んでいます。

平成28年、(株)セキグチ本社近くの工場跡地に、「モンチッチ公園(愛称)」が開園しました。足元のブロックやトイレ壁面がモンチッチで装飾され、区民の憩いの場として親しまれています。この公園は区の防災公園としても役立っています。

平成29年には、かわいいモンチッチのラッピングバスが運行を開始したほか、JR新小岩駅周辺10か所にモンチッチのデザインマンホールを設置、京成金町線柴又駅

マンホールカード(下水道広報プラットフォーム(GKP))が発行。全国のマンホール蓋の写真・デザインの由来などが記載されたカード。

近くの柴又観光案内所でマンホールカードを無料配布するなど、区民を楽しませています。

また平成30年、JR新小岩駅北口と新小岩駅東北広場をつなぐ連絡通路「スカイデッキたつみ」のエスカーレーター手すり脇や壁面、照明灯などをモンチッチデザインに、同年7月の第52回葛飾納涼花火大会では、モンチッチ花火が打上げられ、注目を集めました。さらに、法被姿の限定版モンチッチがふるさと納税の返礼品になるなど、「モンチッチに会えるまちかつしか」として、区の取り組みに大きく貢献しています。

公園の  
いろいろなところに  
モンチッチがいるよ!

モンチッチ公園 開園(平成28年4月)

幅広く愛されるキャラクターを通して  
未長くまちづくりに貢献したいですね

モンチッチは今年で誕生45周年目を迎えますが、40年以上経った現在も、

世界中で愛されるキャラクターです。モンチッチには、可愛い、あたたかい、優しい、柔らかいというイメージがありますよね。皆さんに愛され、親しまれるキャラクターを通して、「モンチッチに会えるまち かつしか」の取り組みが、より伝わればと思います。

昨年7月に実施された第52回葛飾納涼花火大会で、モンチッチ花火が上がったとき、会場にいる皆さんの拍手や大歓声を聞いて、誇らしく非常に感動しました。この他にも、モンチッチのデザインマンホールの設置や

ラッピングバスの運行など、地域や区との協働により、モンチッチがまちを彩っていくなかで、「葛飾区に行けばモンチッチに会える」と認知されてきているように感じます。

「この前のイベントをまたやって欲しい!」などと会社の近くでお声掛けいただくなど、地域の皆さんの声がとても励みになっています。今後も地域の皆さんに愛され、未長くまちづくりに貢献できる会社でありたいと思っています。

商品本部 Webマーケティング部  
マネージャー 幡野 友紀さん

©Sekiguchi



ラッピングバス

Point 3  
新小岩駅「スカイデッキ  
たつみ」のモンチッチ  
装飾

Point 2  
モンチッチがデザイン  
されたラッピングバス  
やマンホール

Point 1  
防災公園を兼ねた  
「モンチッチ」公園

ボクの顔に  
見えるかな?

# 放置自転車の撲滅へ 区民総ぐるみで激減!



放置自転車及び盗難防止キャンペーン  
には、100人以上のボランティアが集まる



地元の高校生も参加

## 〈 広報紙 (昭和57年5月5日) の記事 〉

JR (旧国鉄) 金町駅周辺の様子。  
当時は、放置自転車が都内ワースト1だった。



今はこんなにスッキリ!



現在の駅周辺の様子



▲放置自転車対策として、昭和57年に整備された金町駅北口自転車駐車場



夕方4時頃から開始しました。  
こうしたキャンペーンの結果、金町駅  
周辺の放置自転車数は、平成11年には  
1060台でしたが、平成29年には77台  
と激減しています。



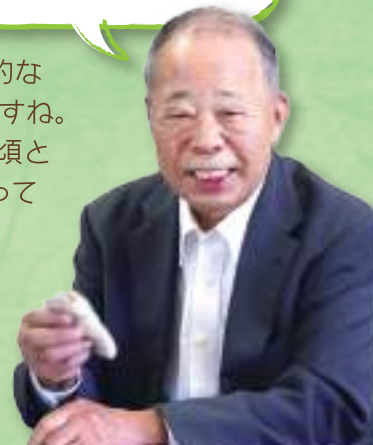
## 放置自転車都内ワースト1の金町駅周辺で、放置自転車が激減しました

協議会発足当時の昭和57年には、金町  
駅周辺の放置自転車数は都内ワースト1位  
でした。しかし、今では協議会に参加して必  
要性を感じた方々や、区が設置した駐輪場  
のおかげで、放置自転車は激減しました。

利用者の意識啓発のためキャンペーン  
でティッシュを配りますが、何かの宣伝と  
勘違いされて「なんですか?」というよう  
な反応をされることもあります。それでも、  
半数以上の方は受け取ってくれます。キャン  
ペーン参加者は、皆「やってよかった」と

言っていますよ。こういう協力的な  
感想を聞くとやりがいを感じますね。  
私自身、ワースト1位だった頃と  
比べて明らかに歩きやすくなって  
いて、効果を感じています。

しかし、まだまだ放置自転  
車はありますので“放置自転  
車ゼロ”を目指して、駐輪場  
の増設と、利用者の意識向上  
を目的に、今後さらに呼び掛  
けていきたいと思っています。



会長 橋本 義武さん

**Point 1**  
駅前放置自転車追放  
及び盗難防止キャン  
ペーンの実施

**Point 2**  
放置自転車撲滅のビラ  
を入れたティッシュを  
配布

**Point 3**  
自治町会、商店会、鉄道  
会社、企業、警察などで  
協働



信金 信組  
4行が、創業・融資の強力サポート  
創業者への応援で、地域活性化！



亀有信用金庫・創業塾



青和信用組合・創業塾



亀有信用金庫、東栄信用金庫、青和信用組合、  
第一勧業信用組合の皆さん

創業2年未満の方を対象に、かつしか創業塾を行い、ビジネスに必要なノウハウなどを提供していきます。また、創業支援融資として、葛飾区が実施している利子補給や信用保証料補助に上乗せして、自己負担金0円を実現、ビジネスの活性化を支援しています。

第一勧業信用組合では、創業者やこれから創業を目指す方を対象に「葛飾区 地域クラウド交流会」を開き、創業者と地域の事業者とのマッチングを行い、創業者にとって気になる「耳寄りの情報」など、地域特性を把握する支援などを進めています。

それぞれの金融機関が持っている情報やノウハウ、そして各事業所の人材情報などを共有し、企業の生の声を聞き、どんなサポートが必要かを共に考え、的確なアドバイスや必要とされる人材の紹介なども積極的に行っています。

亀有信用金庫・東栄信用金庫・青和信用組合では、地元葛飾で創業する方



亀有信用金庫・東栄信用金庫・青和信用組合・第一勧業信用組合の4行では、地元葛飾の創業者の応援を通じて地域を活性化する目的で、創業塾やセミナー、地域クラウド交流会などを行っています。



東栄信用金庫・創業塾



第一勧業信用組合・地域クラウド交流会

交流会でマッチングが進み、皆さんそれぞれの心が  
つながっていくのを見ると、やりがいを感じます

■亀有信用金庫・伊藤 大治さん

創業期においては、特に販路開拓や資金繰りが課題となる場合が多いですが、こうした課題解決のサポートを通じて、自分自身のやりがいや成長にもつながっていると感じます。

■東栄信用金庫・田中 敏匡さん

区産業経済課の協力で、創業塾を開いていますが、受講生の方々から非常に反響が良いので、さらに次の展開へつなげることが今の生きがいです。

■青和信用組合・高橋 忠功さん

葛飾区や他の地域金融機関をはじめ、土業

の方々連携して創業のお手伝いをさせていただいております。創業された方の事業の発展が葛飾区の経済発展につながるとともに、我々のパワーの源となっております。

■第一勧業信用組合・渡邊 恵美さん

地域クラウド交流会で、リアルなマッチングが進み、参加した皆さんたちそれぞれの心がつながっていくのを見ると、やりがいを感じます。若い方も参加してくれるので、将来のまちの発展の力添えができればいいなと思い創業支援にも力を入れています。

Point 1  
創業者・起業家への  
継続的な支援

Point 2  
開業時に大切な  
ノウハウなどの提供

Point 3  
区と協働で本人負担  
の金利ゼロ、保証金  
ゼロの融資を実現

ご存知ですか？  
**成年後見制度**  
認知症高齢者などの暮らしを守ります



かつしか市民後見センターの皆さん



セミナー  
「市民後見の集い」

<ひとり暮らし80歳 Aさんのお悩みは>

最近物忘れが多くなってきた

高額な布団を買わされた

子どもには迷惑をかけたくない

近所に頼れる人もいない

でも自分らしく安心して暮らしたい

成年後見制度を利用すると

介護サービスなどの手続きをします

必要のない契約を取り消します

現金や不動産などの財産を管理します

今後、成年後見の利用ニーズの増加に伴い多くの市民後見人が必要となり、同センターの活躍がさらに期待されます。

裁判所の審判が下りれば、Aさんの成年後見人がお金の管理、医療、介護サービスの手続きなどの日々の暮らしを守る支援をします。

同センターでは、成年後見制度について、丁寧に説明し、希望すれば、裁判所への申立てを支援します。

などが、本人を法的に支援する制度で、家庭裁判所の審判がなければ、成年後見人になることはできません。

例えば、ひとり暮らしの80歳のAさん。（上図参照）認知症の進行に伴い、日常生活に様々な支障が生じるようになりま

NPO法人かつしか市民後見センターは、平成24年に区が実施した市民後見人養成講座の受講生が立ち上げたNPO法人で、現在14名が活動しています。

メンバーは、介護相談員や生活支援員、社会福祉士、看護師などで、職業は違っても、地域社会に貢献したいという想いはひとことです。

同センターの活動は、成年後見制度に関する相談、家庭裁判所への申立て支援、法人後見の受任、成年後見制度の普及啓発、死後事務など、多岐にわたります。

成年後見制度とは、認知症や知的障害、精神障害などで物事を判断する能力が不十分な方の代理人として、本人の権利を守る援助者（成年後見人）にわたります。



施設への訪問

毎日が試練の連続です  
その人の心に、虹が架かることを信じて

「もしも誰かの役に立てるなら」そんな気持ちで、7年前に養成講座を受講したことから、すべてが始まりました。この活動を始めてから、成年後見人の重さを痛感しています。

市民後見人が成年後見人として裁判所に認められるのは容易なことではありません。裁判所の選任は、大袈裟に言えば、その人の人生そのものを託す、ということなのです。

実際の活動は、後見人としての手配と支払いなどの本来業務だけでなく、本人の身の回りの世話や介護をすることもあり、まさ

に、その人の人生を抱えての毎日です。

人や資金が足りない。いろいろな人に関わって欲しい。組織的なサポート体制が必要だ。もっと周知しなければ…と、考えることはたくさんあり、仲間ともそんなことをよく議論しています。

人の心に寄り添うことは大変ですが、倫理観を持ち、個人情報を守って、頑張っていきたいと思います。



代表 橋本 かつ子さん



相談風景



成年後見について意見交換



“市民後見の集い”受付風景

Point 1  
成年後見制度に関する相談受け付け

Point 2  
成年後見制度の検討会

Point 3  
成年後見制度の普及活動

# デフママ 地域貢献の大きな輪！

＝聴覚に障害のあるママたちがつくる



デフママの会とは…  
Deaf(デフ=耳が聞こえない)  
母親の会という意味。



マスキングテープで  
フォトコラージュ講座



小学校での出前  
ボランティア講座の様子



手づくりマスク  
かわいくできました



※ろう重複者…  
さまざまな障害を  
併せもった聴覚障害者

ルピアかつしか)で開かれるウエルピア  
まつりで、手づくりの品物や古着などを  
持ち寄り、バザーで販売し、その  
売上げをろう重複者※の  
施設に寄付する活動も  
行なっています。

葛飾区デフママの会は、聴覚に障害の  
あるお母さんたちの団体です。子育てや  
日常生活についての情報交換をしたり、  
小中学生向けに手話などを教える、出  
前ボランティア講座を行っています。

出前ボランティア講座は、手話サーク  
ル葛飾の会員に協力してもらい、聴覚障  
害への理解が深まるように、手話の体験  
や聴覚障害者の生活などについて、紙芝  
居やクイズなどを取り入れながら、学  
年ごとにわかりやすいように内容を变  
えて教えています。

毎月行われる例会では、育児などの  
情報交換や、出前ボランティア講座の企  
画を決めたりしています。また、例会の  
趣向を趣味の分野にも広げ、講師を招  
いてダンスやヨガ、手芸などの講座も不  
定期で開いています。

また、地域福祉・障害者センター(ウエ

手話を教えた子が、まちで手を振って手話で  
挨拶してくれました。とても嬉しかったです。



2016年葛飾区協働まちづくり表彰式



ヨガ講座



パソコン講座

Point 1  
小中学生向けに、出前  
ボランティア講座を  
開催

Point 2  
バザーでの売上げを  
ろう重複者(※)の施設に  
寄付

Point 3  
会員たちの学習会(ダン  
ス・ヨガ・手芸など)を  
随時開催

この会が設立されたきっかけは、3人  
の聴覚に障害のある母親の個人的な  
集まりからでした。現在は人数も増え、  
子育てや日常生活などの様々な情報  
交換のできる大切な場所になってい  
ます。

出前ボランティア講座は、クラスに  
よって反応は違いますが、どの子ども  
たちも熱心に聴いてくれます。聴覚障  
害について全く知らなかった子どもた

ちが、「手話をもっと勉強してみたい」と言ってくれたり、まちで偶然出  
会った時に手を振って挨拶をして  
くれたりするのは、とても嬉しい  
ことです。

この講座をきっかけに、  
聴覚障害への理解が深まり、手話通訳を目指す人や、  
手話のできる人が増えて  
いったらいいと思います。



那須 善子さん

# 音だけの世界 音訳が

## 視覚障害者を支える！

音訳とは…  
文字や図表などの情報を  
音声化すること



メンバーの皆さん



対面朗読サービス



障害者週間での展示



かつしかボランティアまつりに参加

葛飾音訳ボランティアの会は、視覚障害者や読書の困難な方に、情報を音訳し提供する活動を行っています。葛飾区立中央図書館を拠点に、約40人のメンバーが活動しています。

音訳する図書の分野は、小説や歴史、科学とさまざまで、正しい固有名詞の読み方やイントネーションなど、音訳者の読みの技術が求められる作業です。

区立中央図書館で行っている対面朗読サービスは、希望者の相談内容に応じ、朗読の日程調整から実施までをメンバーたちが行っています。

さらに、区が舞台の漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の音訳にも取り組んでいます。漫画の吹き出しはセリフに、人物の動きや情景は映画の音声ガイドのように入れ「きり」とした中川、決めポーズの麗子「ギギイ」、乗用車とバイクが止まる「と」といった具合です。

他に、区の視覚障害者福祉協会が発行



人物の動きや  
情景もわかるように  
シナリオをつくります

する「声の会報」の中の

「小さな本棚」の構成・編集をしています。また、録音雑誌「声の広場」の発行や広報かつしか、区議会だよりなどのDAISY(テイジー)(※)版の発行も行っています。メンバーたちは、毎月定例会を開き、技術力を上げるための学習会を行っています。

※DAISY(テイジー)：視覚障害者や印刷された図書などを読むのが困難な人のために開発された電子図書の国際的な規格

### “こち亀”の音訳は、「ラジオドラマのようだ」と、好評です

私たちのつくった音訳本は、総じて聞きやすく、良くできている、という評価をいただいています。視覚障害者の皆さんは、全国でつくった音訳版を聞いていますのでそのレベルが分るんですね。

小説などは、比較的容易に音訳できますが、例えば鍼灸師さんの試験を受けるために読む専門書や表(グラフ)がたくさん掲載されている本は、調査などに時間がかかって大変です。

人気漫画も音訳しています。「こちら葛

飾区亀有公園前派出所」で、これまでに50巻ほどDAISY(テイジー)(※)版にして区立中央図書館などに置かれています。これは大好評で、聞いた方からは、「まるでラジオドラマを聞いているようです」という声も寄せられています。私たちはこれからも、音だけが頼りの皆さんに、伝わるとうとうか。その技術を磨いていきます。



代表 鶴岡 幸子さん



技術の向上のための学習会



図書校正中



広報の打ち合わせ

Point 1  
対面朗読サービスの  
相談・実施

Point 2  
人気漫画の音訳にも  
取り組む

Point 3  
広報かつしか・区議会だ  
よりなどのDAISY(テイ  
ジー)(※)版発行

第1回「葛西城戦士  
カツラギ」プロジェクト  
カツラギ 対 魔将軍  
幻魔と手下、  
そして狙われた  
学芸員さん!

「当地」  
ヒーロー 葛西城戦士  
カツラギ

歴史に埋もれた

お城や史跡

をPR



ショーは大人気!



学芸員の谷口さんが捕まった!

青戸サンロード商店会「交通安全  
『春まつり』」に出演、大迫力の殺陣ショー

区学芸員が葛西城関連の  
歴史を語るトークイベント



カツラギとして現代に蘇り、剣を使った迫力ある殺陣で敵との戦いを繰り広げる、という設定です。

ショーの前後には、区の学芸員が郷土史を語るトークイベントを行います。葛西城をめぐる歴史解説では、当時関東を治めていた上杉氏、お城を攻め落とした小田原北条氏との関係などをわかりやすく伝え、訪れた人々を歴史への旅に誘っています。

区内には城跡のほか、関連する史跡や寺社があります。こうした歴史的資産を周遊するアプリによるモバイルスタンプラリー形式のイベントを開催し、地域振興につなげる活動も展開しています。

葛西城戦士カツラギプロジェクトチームは、区民有志がヒーローショーなどを通じて、戦国時代にあった葛西城にまつわる歴史やエリアの地域資源を知ってもらおうと、様々な活動を行っています。

葛西城は戦国時代に築かれたお城で、現在の葛西城址公園・御殿山公園(青戸)のところが本丸にあたります。

ヒーローショーでは、1400年代に葛西城を治めていた葛西清重という武将の魂が葛西城戦士



葛西城跡公園

えっ! 葛飾にお城があったの?  
反響続々・活動に手応えを感じます

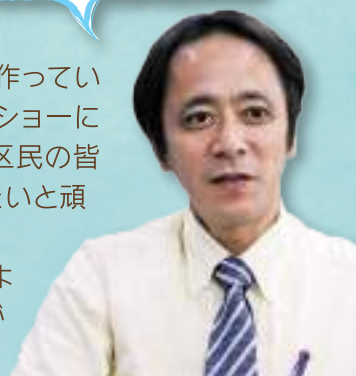
ヒーローショーでは、訪れた親子連れから「葛飾にお城があったの? 知らなかった」「楽しかった」などの反響があり、葛西城に興味を持ってもらい、活動に手ごたえを感じました。

葛飾と言えば、両さんや寅さんが人気ですが、地元発信の、新しい何かができないかと探していたところ、葛飾区に『葛西城址』があることを知り、ご当地ヒーローを作り、歴史などをもっと広めたいと思ったのが活動を始めるきっかけです。ラジオや新聞にも取り上げられ、認知度も徐々に上

がってきました。

ヒーローの衣装・デザインを作っているときがいちばん楽しいです。ショーに参加しているメンバーたちも、区民の皆さんにもっと楽しんでもらいたいと頑張っています。

各地にお城マニアがいますよね。そうした方々と“お城つながり”になって、葛飾だけでなく、葛西城址とそのエリアを各地にもっと広めたいですね。



考案者 設楽 保男さん



城跡の葛西城址公園と御殿山公園(葛飾区青戸7丁目)

Point 1  
ヒーローショーの企画・運営

Point 2  
漫画やゲームで葛西城を伝え、観光の拠点に!

Point 3  
区の学芸員も協力。埋もれた歴史資源を解説



マーチングバンド



ハートフルコンサート



スポーツフェスティバルに出演



幼児から大人まで楽しめる！  
「ゆかいでポップなファミリーコンサート」、ジュニアバンドが盛り上げます

わがまちの吹奏楽団かつすい  
客席とステージが一体に！

葛飾吹奏楽団は、区内中学校の卒業生を中心に1975年に発足。以来40年以上の長きにわたり地域での演奏活動に取り組み、「わがまちの吹奏楽団かつすい」として、多くの区民に人気があります。

現在は、シンフォニックウインドオーケストラ、マーチングバンド、ジュニアバンドと3つのグループがあり、かつしかシンフォニーヒルズでの定期演奏会をはじめ、さまざまなコンサートを、地区センターや学び交流館、テクノプラザなどで行っています。

特に人気なのは、乳幼児から高齢者まで一緒に楽しめる「ゆかいでポップなファミリーコンサート」で、客席も演奏者も歌って、踊って盛り上げられます。

高齢者の楽しみは、「なつメロコンサート」で、演奏が始まると会場から自然と

歌声が沸き上がってきます。

さらに同楽団は、区民体育大会総合開会式や子どもまつり、菖蒲まつりなどにも出演し、区の「文化芸術創造のまちづくり」に貢献しています。

吹奏楽コンクールにも毎年参加し、全国大会で金賞を受賞するなど、かつすいの実力は誰もが認めています。

葛飾小学校演奏会の一コマ

亀有学び交流館での演奏会



シンフォニックウインドオーケストラ・定期演奏会

昭和歌謡はみなさん歌詞を知っていて、演奏すると合唱が始まります



副団長 高木 伸一郎 さん

楽団長 菊入 栄さん

奏を心がけています。40数年の歴史の中で、この精神は、脈々と受け継がれています。コンサートの会場などでアンケートをとっていますが、皆さん、好きな曲を演奏して欲しい、というリクエストが多いです。昭和歌謡は、高齢者に人気がありますね。美空ひばりさん、石原裕次郎さん、舟木一夫さん…。皆さん歌詞を覚えているので、コンサートで演奏すると、客席で合唱が始まります。ええ、楽しいですよ。盛り上がって、客席と演奏者が一体となった時、音楽を提供できる喜びをすごく感じています。この活動は、ずっと続けたいですね。

我々の演奏活動は、「感謝と奉仕」の精神で成り立っています。感謝とは、演奏活動は我々だけで出来るのではなく、多くの人々の支援があって出来ており、感謝があれば、当然、奉仕の心で良い演

Point 1 かつしかシンフォニーヒルズでの定期演奏会、クリスマスコンサート

Point 2 ゆかいでポップなファミリーコンサート&なつメロコンサート

Point 3 区が演奏活動費の一部を助成・広報支援

# わがまちのオーケストラ葛飾フィル

銭湯の脱衣所で

## ミニコンサート!

同管弦楽団は、かつしかシンフォニーヒルズの開設に伴い、1990年に区民オーケストラとして設立、「わがまちのオーケストラ葛飾フィル」として区民に愛されています。

かつしかシンフォニーヒルズでの年2回の定期演奏会のほか、区役所区民ホールや地区センター、高齢者施設、保育園などでミニコンサートを精力的に行い、多くのファンがいます。ミニコンサートは、かつしかシンフォニーヒルズまでなかなか来ることができない足の不自由な高齢者や小さな子ども連れの家族などを対象に行っています。とても楽しみにしている方たちがたくさんいて、好評な企画です。



大人気! 区庁舎ロビーコンサート

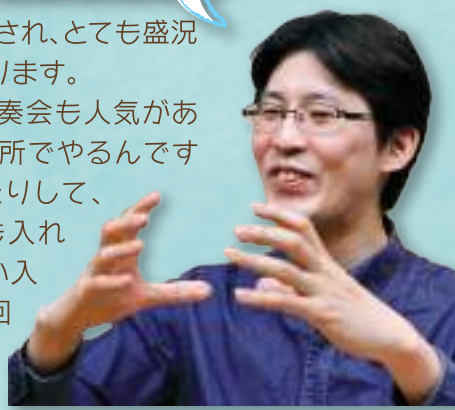
### 銭湯の脱衣所でやる演奏会は、皆さん楽しみのようです

平成2年からの活動ですが、その頃から演奏会に来てもらっている方が多く「いつもありがとう」と言ってもらっています。生演奏に接する機会って少ないと思うんです。ですから、「気軽に聴ける演奏会」を目指しています。

それと、他のまちから葛飾に引っ越してきた方に、「こうした文化芸術に身近に触れられるなんて、葛飾のまちは素晴らしい」と良く言われます。定期演奏会の他に、行うミニコンサートは、足腰が悪い高齢者

などもたくさん来場され、とても盛況で、演奏にも力が入ります。

また、銭湯での演奏会も人気があります。銭湯の脱衣所でやるんですが、広い所もあったりして、演奏するメンバーも入れて、30~40人ぐらい入るんですよ。年6回やっていますが、皆さん楽しみに待っていてくれます。



団長 近藤 正宏 さん

ユニークな活動としては、区内の銭湯で年6回、演奏会を開いています。これは高齢者の方の、地域社会との交流などを目的としたもので、区民の身近な場所での演奏活動は好評です。

また、青少年への演奏指導にも長年取り組み、小学生から高校生を対象にした「オーケストラ楽器のクリニック」で、楽器の演奏法など、一人ひとりの能力に応じたアドバイスを行い、音楽家を目指す子どもたちの養成に力を入れています。

ガラス戸の向こうに浴槽が...  
銭湯でのミニコンサートに  
皆さん楽しんでます



オーケストラ楽器の  
クリニック



新小岩地区センター  
ホルン四重奏・管楽器ミニコンサート



**Point 1**  
かつしかシンフォニーヒルズで、年2回の定期演奏会

**Point 2**  
銭湯や区役所などで出張演奏会を開催

**Point 3**  
区が演奏活動費の一部を助成・広報支援



人気の文化財めぐりで  
**まちのお宝再発見!**

中川と新中川の関係を学びながら、地域の文化財をめぐりました



高砂天祖神社

旧下小合村領主で長崎奉行を務めた松浦信正に関わる文化財などを巡りました  
写真は貞林院瑞正寺



「葛飾区セルロイド工業発祥記念碑」  
区登録有形民俗文化財



極楽寺(堀切)文化財巡りでの解説



葛飾区文化財保護推進委員会議は、区内文化財の普及啓発のため、年3回「文化財めぐり」などを主催しています。「文化財めぐり」は、専門知識を持つ職員と委員とで協力して実施しています。平成30年度は、明治150年をテーマに、東四つ木に残る徳川將軍と幕末志士の足跡を訪ね、四ツ木駅前を出発し、勝海舟が西郷隆盛の死を悼み石碑を建てた浄光寺などを巡りました。

この「文化財めぐり」は、企画・立案から当日の運営まで、文化財保護推進委員が行い、区内各地区の文化財への理解を深めています。年3回行われるこのイベントは定員50人のところ、毎回それを上回る応募があり、抽選となる人気ぶりです。

また、年1回開催される文化講座は、大河ドラマの時代考証をしていた方などが講師を務め、こちらも毎回応募者が殺到します。

さらに、年4回発行する「かつしかの文化財」や「かつしかFM」も、区内の文化財を紹介しています。

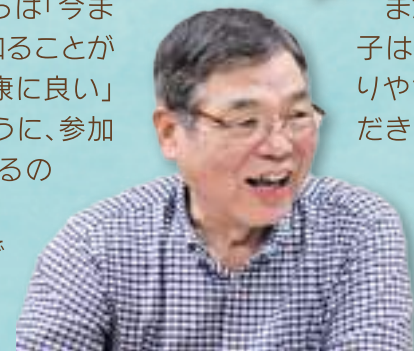
同団体では、お地蔵さんなどの「地域の宝」や、散歩した時にふと見る夕景などの自然現象も「文化財」として、多くの区民に知ってもらおうと活動の輪を広げています。



文化講座の様子

“今まで知らなかった地域の歴史を知ることができる”と好評です

「文化財めぐり」の参加者からは「今まで知らなかった地域の歴史を知ることができた」、「たくさん歩くので健康に良い」と大変喜ばれています。このように、参加者の皆さんに喜んでいただけるのが、私たちの喜びでもあります。

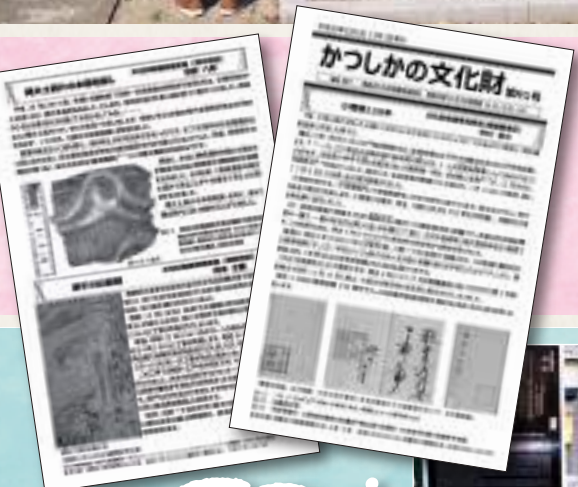


会長 関口 伊織さん

また、「文化財めぐり」で使用する冊子は、写真や図が多く、「とても分かりやすい」と、大変高い評価をいただきました。

手の込んだ冊子になっているので、参加できなかった人にも見ていただけるようにできないか検討しています。そうすれば、それを見ながら各自で「文化財めぐり」を楽しんでいただけたらと思っています。

参加者のほとんどが高齢者ですので、安全面にも気を使い、転倒の危険性が増す雨天時は中止にし、参加者全員に傷害保険に入ってもらっています。



年4回発行の情報誌「かつしかの文化財」



都指定史跡「立石」



区指定有形文化財「梵鐘(松浦の鐘)」

Point 1  
文化財めぐりの企画・運営

Point 2  
文化講座を実施

Point 3  
冊子「かつしかの文化財」を発行



躍動するサッカー少年・少女たち

国際交流試合も活発に！



葛飾区サッカー連盟は、サッカーで地域に活力を！をテーマに、普及・育成強化の3本柱を中心に活動しています。なかでも同連盟少年部は、年間を通して行われるエンジョイスポーツ大会やキャプテン翼カップなど、区主催の大会をはじめ、日本サッカー協会、東京都サッカー協会等が主催する大会の運営を行っています。

また、ある一定以上の技術を持つ小学4年生以上の子どもたちを各学年30人ずつ選抜し、技術指導を行う葛飾プライマリーも運営、選手の育成にも力を入れています。

さらに、葛飾区と姉妹都市交流をしている、韓国ソウル特別市麻浦区とスポーツ交流もしています。韓国から過去4回葛飾へ少年サッカーチームを招きフットサル交流を行いました。また、平成

子どもたちの楽しそうな笑顔を見ると、疲れも吹っ飛びます

サッカーという競技は、試合中に同じ状況は二度と生まれません。という生まれにくいんです。したがって、その瞬間ごとの選手個人の判断が、とても重要です。

そのため、子どもたちのプレーには、あまり口を出さないようにしています。そうやって自由にプレーさせると、判断力が養われるだけでなく、子どもたちは遊びのようにサッカーを楽しみます。楽しいと、子どもたちは自発的に練習して、どんどんうまくなるんです。

私たちは、週末や連休の時なども休まず、一年中サッカーで動いています。そうした意味では、いい家庭人ではありません(笑)。子どもたちの楽しそうな笑顔に接していると、疲れも吹っ飛びます。サッカーに必要な、フィールド上での仲間との連携などを養うと共に、行政や教育機関で教えられない部分を私たちが補完し、子どもたちの成長に寄与したいと思います。

少年部長  
鈴木 隆志さん



少年部 運営副部長  
羽場 公一さん



エンジョイスポーツ  
サッカー教室



女子サッカー大会



29年には、16名の葛飾区選抜チームを作り、韓国へ派遣し、スポーツを通じて交流を図りました。同連盟は、サッカーの大会運営や技術指導などを通して、子どもたちの成長に寄与しています。



韓国のソウル特別市  
麻浦区のチームと！



Point 1  
葛飾区主催のサッカー大会を多数運営

Point 2  
一定の技術を持つ小学4年生以上の子どもたちを技術指導

Point 3  
韓国のソウル特別市麻浦区とスポーツ交流

# 灯明で描く地上絵の幻想世界！ 光のアートが堀切の夜を彩る

※灯明(とうみょう)とは、神や仏に供えるろうそくなどの灯火のこと。  
仏教では“闇を照らす智慧(ちえ)の光”で  
供養のひとつとされます。



準備の様子



「火育」イベントとしての側面も！



火の安全な使い方を指導



このイベントには、地元  
のミニマジシャンたちも参  
加、また区の職員も灯明  
づくりや、地上絵製作の  
サポートなどを行い、区  
民との協働事業として地  
域に根付いています。

河川敷にすらりと並んだ灯明(※)が、  
鮮やかな光のアートを織りなすライト  
アップイベント「葛飾灯明」の企画・運営  
を行うのは、葛飾灯明実行委員会です。  
昨年5月に堀切水辺公園で行われた  
「葛飾灯明」は、灯明(紙袋の中に、ろうそ  
くと砂を入れて作成したペーパーキャ  
ンドル)が、3500個余り河川敷に並  
び、幻想的な雰囲気を漂わせていまし  
た。訪れた人々は、灯明を使った巨大な  
地上絵に魅せられていました。  
「葛飾灯明」は、地域の子どもたちや、  
若い世代にライトアップイベントの準備  
や鑑賞、撤収に参加してもらうことで、  
火の安全な使い方などを学んでもらう  
「火育」イベントでもあります。  
活動は今年で6年目を迎え、堀切地区  
の新たなナイトイベントとして1000人  
を超える多くの来場者で賑わっています。

火の美しさを味わい  
同時に火の安全な使い方を知るイベントです

このイベントは、幼児から高齢の方まで大勢  
の人々に楽しんでもらっています。特に若いお  
父さん、お母さんに、子どもと一緒に来てもら  
いたいですね。というのも、火の美しさを味わ  
いながら、防災の面で、「火の安全な使い方」な  
どを知ってもらう目的もあるんです。また、会  
場の荒川土手は広域避難場所になっているの  
で、多くの区民に来てもらって、お手洗いが少  
ないことや、夜は真っ暗なこと、自然が厳しい  
場所であることに気付いてもらいたいです。

毎年の恒例行事として皆さんの期待を感じ

ています。それは、嬉しいこと  
でもあります。今は堀切  
だけでやっていますが、  
将来は、区内の各地域  
でやりたいですね。ろ  
うそくの灯りで、その  
地域特有の特色ある地上  
絵を書いて…。例えば、柴又  
だったら「寅さん」亀有だったら「こち亀」  
四つ木だったら「キャプテン翼」とかの地上  
絵を書いて、見ても、楽しいですよ。



実行委員会 会長  
江口 昭藏さん



Point 3  
区の職員も灯明づくり  
などをサポート

Point 2  
火の安全な使い方を  
学ぶ「火育」イベント

Point 1  
葛飾灯明の企画・運営

国内最大級！

# 機械要素技術展に

ものづくりのまち  
葛飾の企業が  
**出展、PRを！**



全国から機械要素・加工技術を一堂に集めた国内最大級の機械要素技術展が2018年6月、東京ビッグサイトで開かれ、区内の中小企業が出展、ものづくりのまち葛飾をPRしました。

会場では、区が共同出展の「葛飾区ブース」を設け、展示会への企業の出展を積極的にサポート。区内のものづくり企業と葛飾区PRコーナーを設置し、来場者たちの関心を誘っていました。

出展企業(※1)の中で、プラスチック製品の試作金型の製作と小ロット形成などを行う株式会社ミヨシや、出張した場所で、大型機械・設備をメッキ技術の応用で、メッキ加工などを行う有限会社港メッキ工業所などでは、ブースでの実演や、新製品の紹介など、「町工場の技術」を盛んにアピールしていました。

葛飾区は、都内23区で第3位の工場



ドリル工具などさまざまな製品展示

区内の町工場から生み出されたすくれた製品技術を葛飾ブランド「葛飾町工場(まちこうば)物語」として認定。ストーリー性豊かに情報発信し、販売の拡大につなげようというものです。



自動化(オートメーション)装置の実演



研削加工で作られた部品など



世界一細い0.2mmの輪ゴムを伸ばす!



金型製作、成形技術によるロボット製品



メッキ加工したミニカー



ダーツ的に必中させる自動ロボットの実演



メッキ加工の実演

(有)港メッキ工業所  
社長代行 田口 泰輔さん

## 展示会に単独で出るのは難しいので 共同出展はとても助かります

ブースで出張メッキ実演をやっているんですが、多くの人に足を止めていただいています。1件でも2件でもビジネスにつながるよう頑張っています。

この規模の展示会に単独で出るのは、難しいので、区内企業で共同出展できるのはとても助かります。ブースも大きく目立つので、「ものづくりのまち葛飾」をPRする絶好の機会になっています。

今回、鉄鋼メーカーと宇宙航空メーカーの大手さんが興味を持ってきていますので、今後、受注につなげるよう商談をしていきたいです。

## 町工場って、表に出てアピールする場が無いので、すごいチャンスです

私たちの町工場って、表に出てアピールする場がないんです。こうした展示会で、私たちの製品や高い技術を、新規のお客様に見ていただくことは、すごいチャンスなんです。そうした場を葛飾区から提供していただけるのは、本当にありがたいことです。

ひとつの製品を完成させるためには、他の企業との連携が必要です。この展示会で、これから一緒に仕事ができるような企業をより多く見つけ、受注につなげたいと思っています。



(株)ミヨシ  
代表取締役  
杉山 耕治さん

- 出展企業(※1)
- (株)浅川製作所
  - (株)エレナ
  - カインズ(株)
  - 河政工業(株)
  - (株)クロダ
  - (有)小堀加工所
  - 新越精機(株)
  - (有)精工パッキング
  - (株)チバダイス
  - 日工産業(株)
  - (株)ヒキフネ
  - (有)樋口工作所
  - (有)港メッキ工業所
  - (株)ミヨシ
  - レック(株)

**Point 1**  
全国規模の展示会で  
葛飾の企業が、自社  
製品をPR

**Point 2**  
葛飾ブースを設け、  
ものづくりのまち  
葛飾をアピール

**Point 3**  
区の職員たちも各企業  
のブースでPR活動

かなまちイルミネーション  
竹あかり&クリスマスリース  
ふるさと・クリスマスマーケット

# ゴールドに

輝く！

# 金町



「ふるさと・クリスマスマーケット」は日本全国から特産品も大集合



ライティング・コラボレーションかなまち実行委員会は、金町地域のまちづくり協議会や自治町会、商店会、区などで平成29年度に発足。金町地域で暮らすさまざまな人々が繋がり、地域の活性化を図ることを目的に活動しています。

平成30年度は、「かなまちイルミネーション」、「竹あかり&光るクリスマスリース制作ワークショップ」、「ふるさと・クリスマスマーケット」を行いました。

さらに、東京理科大学の理大祭では「かなまちイルミネーション」は、金町駅周辺の通りを金町の名にちなんで「ゴールドの電球で飾り、金町の通りが見るも鮮やかなゴールドに染まりました。」

学生などと協力し、ワークショップを開催しました。子どもたちがつくった「竹あかり&光るクリスマスリース」は、地元のお店などに飾り付けられ、まちを訪れた人々の目を楽しませました。

また、「ふるさと・クリスマスマーケット」では、日本各地の特産品や金町グルメ、スイーツ、雑貨などが大集合、約1万3000人の人出で賑わいました。

ステージでは、都立葛飾総合高校や東京理科大学の学生などがクリスマスソングを演奏したほか、地域の子どもたちが商店会をレポートする映像も流れ、会場を大いに盛り上げました。



ステージも大盛り上がり



平成29年度に理大祭で実施したプロジェクションマッピング

さまざまな色で点灯するクリスマスリース



竹で作ったライト



「来年も楽しみにしています」の聲が励みになります

東京理科大学葛飾キャンパスの開設、高層住宅の建設により、新たに金町へ通う人や暮らす人が増えました。一方で金町に愛着を持ち、長きにわたり働く人や暮らす人も多くいます。その全ての人々がイベントを通して繋がっていただければと思っています。

イベントに家族連れやカップルなどたくさんの方々に来てもらって、飲んだり食べたりして楽しんでいる光景を見ると、ああやってよかったなあ、って実感しますね。「来年も楽しみにし



実行委員長 古山 巧さん 事務局長 松尾 武彦さん

ています」って言うてもらえると、我々主催者側も励みになります。これからも「イルミネーション」や「マーケット」など、もっと輝くまちにするために活性策を考えていきます。

**Point 1**  
区と東京理科大学や地域住民などとの協働事業

**Point 2**  
ゴールドにまちを染める「かなまちイルミネーション」を開催

**Point 3**  
日本各地と金町のグルメなどが集まる「ふるさと・クリスマスマーケット」運営

## < 平成30年度実地研修の内容 >

### 花いっぱいのもちづくり



事前ガイダンスで花いっぱいのもちづくりについて理解を深めたうえで、活動者と一緒に花壇の手入れを行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

**活動団体** ● 松南の森プロジェクト

### かつしか区民大学(農業応援サポーター養成講座)



区民大学講座を企画検討している活発な議論の場(区民運営委員会)に参加し、区民大学の基本を学んだうえで、講座を修了し活動をしているサポーターや千葉大学の学生、講座に参加している区民と一緒に種まきなどの農作業を行いました。作業終了後、活動者と意見交換を行いました。

**活動団体** ● 区民運営委員会\*1  
● 農業応援サポーター(講座修了者)  
● 千葉大学学生(講師) ● 講座参加者

### 区民健康体カテスト測定会



事前ガイダンスで区のスポーツ行政について理解を深めたうえで、測定会に従事し、スポーツ推進委員と一緒に測定補助を行うとともに、研修生自身も自らの体力測定を行いました。

**活動団体** ● スポーツ推進委員協議会

### 機械要素技術展\*2



事前の企業訪問で担当企業の商品や技術について学ぶとともに、商品や技術に対する思いを深めたうえで、当日は、葛飾区ブースに来訪されたお客様に対して担当企業のPRをし、簡単な質疑応答を行いました。

**活動団体** ● 区内出展企業15社

\*1 公募により決定した区民運営委員が区民大学の講座の企画や運営を行う委員会です。

\*2 東京ビッグサイトにて行われた、ねじ・バネなどの部品や金属・樹脂に関する加工技術を有する企業を一同に集めた専門展覧会です。

問い合わせ

人材育成課

電話 03-5698-2611

## 採用2年目職員の

## 「協働研修」をご紹介します!!

### 目的

葛飾区では、新人から管理監督者までの職員を対象に、協働意識の醸成を図る研修を実施しています。特に、採用2年目の職員は、区民・事業者と協働で研修を実施しています。

これは、区内の団体や企業などが活動する現場に赴き、活動されている皆さんと同じ作業を行い一緒に汗を流すことで、皆さんがどのような思いを持って活動に携わっているのかを肌で感じ、その体験を今後の仕事にどう活かしていくかを考えていくものです。



採用2年目

### 内容

#### 1 導入研修

協働について理解を深め、本研修の目的や学習テーマを明らかにする(5月)

#### 2 実地研修(区内活動団体などへの派遣)

団体などが活動する現場に赴いて区民の声を直接聞くことで、協働のパートナーに対する理解と知識を深めるとともに、区の現状と課題を知る(5~7月)

#### 3 振り返り研修

これまでに学習したことを自らの仕事の中で活かすため、個々の体験や学びを共有するとともに、体験の意味を明らかにし、協働に対する意識を更に高めていく(8月)

### 研修生の感想

区と団体が一体となって、同じ目的を持って取り組んでいるのを肌で感じました。

区民がやりがいを持ち、活躍できる場を提供することが、職員にとって必要だと感じました。



葛飾区公式協働ホームページ

## 葛飾みんなの協働サイト

登録団体  
募集中!



葛飾みんなの **協働** サイトとは…

葛飾区では、区内で地域貢献活動をしている自治町会や区民活動団体、NPO、事業者などのみなさんが情報発信会員として団体登録し、団体自らが活動内容やイベント、ボランティア募集などの情報をタイムリーに紹介することができる、「葛飾みんなの協働サイト」を、平成29年に開設しました。

ホームページを持たない団体でも、このホームページに会員登録し、活用いただくことで、広く情報発信をすることができます。

区では、情報発信会員として登録を希望する団体を募集しています。

登録を希望する団体や、このホームページについて知りたい方は、葛飾みんなの協働サイト (<https://kyoudou.city.katsushika.lg.jp/>) をご覧ください。

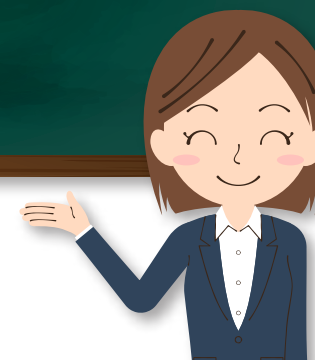


問い合わせ

政策企画課(協働推進担当)

電話 **03-5654-8177**

## 葛飾区職員出前講座のご案内



**職員** 出前講座とは…

区では、かねてよりさまざまな方々によって、地域を良くしようとする活動が行われてきました。区民・事業者の皆さんと区が「協働」することで、こうした活動を一層素晴らしいものにすることができます。

協働するためには、まず区の現状や取り組みなどの情報を共有することが大切です。

**葛飾区職員出前講座は、区職員が皆さんの地域に伺い、区の現状や取り組みについてお話しするものです。**



さまざまな講座をご用意しています。どうぞお気軽にご利用ください。講座一覧を掲載しているパンフレットは、区役所、区民事務所、地区センター、図書館で配布しております。パンフレットは、区公式ホームページ (<http://www.city.katsushika.lg.jp/>) でもご覧いただけます。